

スタートカリキュラムって何だろう？

幼児教育と小学校教育のつながり

茨城女子短期大学
保育科 助川 公継

【日常生活や幼稚園などでの学びや育ち】

楽しいことや
好きなことに
集中

お友達との
関わり合い
(トラブルも)

まわりのものへの
興味・関心

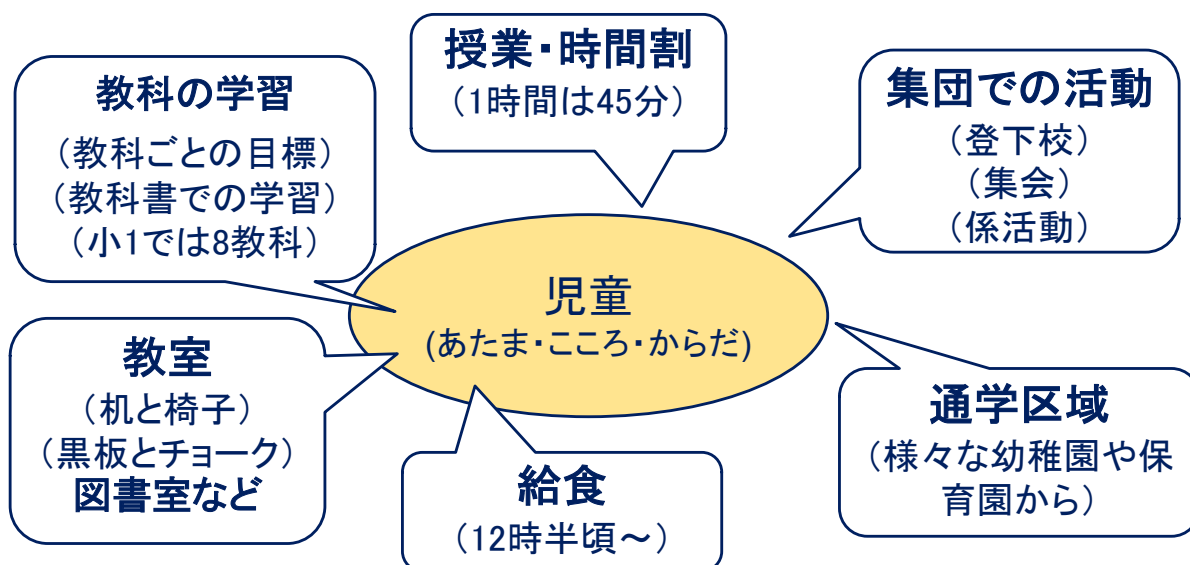
五感を通じた
体験、言葉による
伝え合い

幼児
(あたま・こころ・からだ)

遊びを通して
学ぶ

【発達のは方は一人一人ちがう！】

【小学校へ入ると・・・】



3

【幼児教育と小学校教育の違いは・・・】

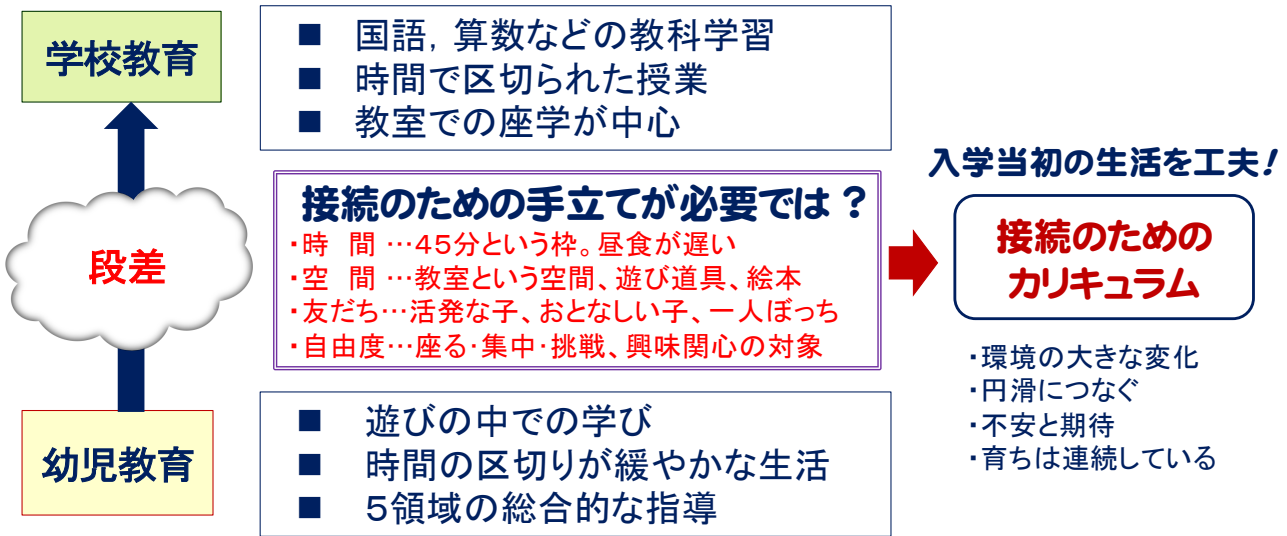
※ 幼稚園や保育所、認定こども園と、小学校では？

【教育の特徴】

	幼児教育	小学校
教育のねらい・目標	方向目標 「～味わう」「感じる」等の方向づけを重視	到達目標 「～できるようにする」等の到達度を重視
教育課程	経験カリキュラム (一人一人の生活や経験を重視)	教科カリキュラム (学問の体系を重視)
教育の方法等	5領域の総合的な指導 個人、友達、小集団 「遊び」を通じた総合的な指導 教師が環境を通じて活動を方向づける	各教科などの区分あり 学級・学年 教科等の目標・内容に沿って 選択された教材によって教育が展開
活動の切替え	活動(遊び)への満足感	時間による切替え
ポイント	幼児が遊び込むことができる環境を構築し、幼児の主體的な活動を促す	内容の具体化と効果的な指導により、目標に到達することができるようにする

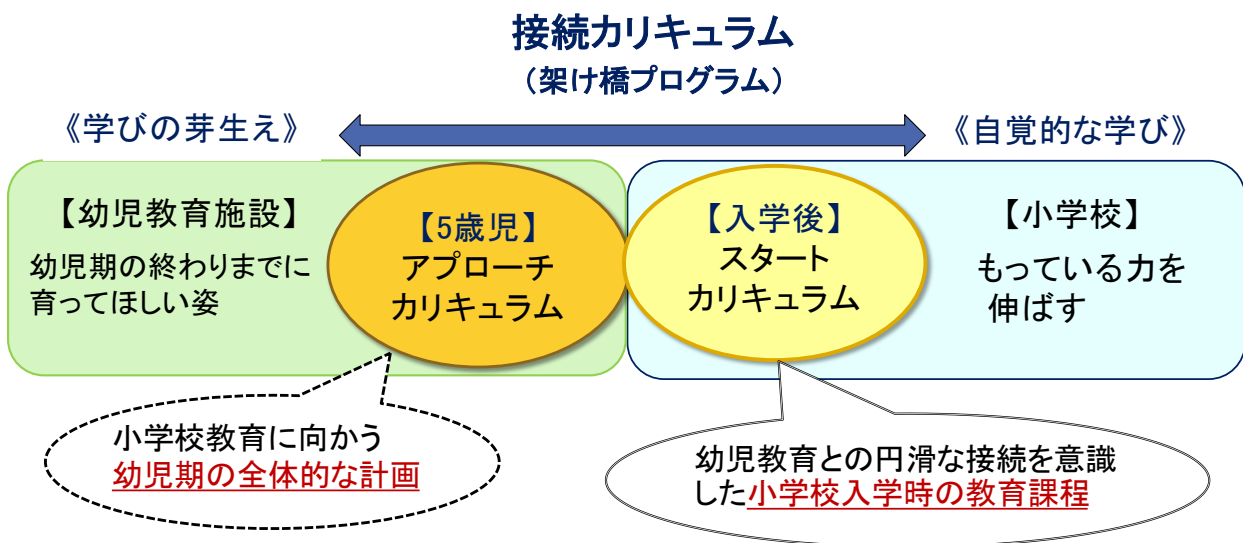
4

幼児期の教育から小学校教育へ



※ <違いを知る> → <どうあってほしいか思いを共有する> → <どうつなげるか> という流れで！

◆ 接続のためのカリキュラムについて



スタートカリキュラム

【小学校入学当初の授業や生活を工夫する】

「学校へ行くのが楽しい」

- ・安心感があり、自信がつく
- ・先生や友だちと仲よくなる
- ・楽しい行事や活動がある
- ・勉強がおもしろい など

◆ 幼児期の遊び(自主的な活動)を通して育まれてきたこと

円滑な接続

- ・スモール・ステップの目標を設定し、段階的に慣れていけるように
- ・生活科を中心とした、合科的・関連的な指導を意識
- ・時間割や学習活動の工夫(10~15分のモジュールや体験的な学習)
- ・家庭との連携を図る(懇談会や連絡帳、学年だよりなど)

◆ 各教科等の学習へつなげていく

《スタートカリキュラムの例》

第1週の日目標 ○ 学校という環境に慣れ、教師や友達と遊びや生活を楽しむ。 ○ 幼児期の体験を生かし、「できる」という気持ちを支えにして、学校生活に必要なきまりや約束を少しずつ覚えながら、安心感をもって活動や学習に取り組む。 ●					
	4月6日(月)	4月7日(火)	4月8日(水)	4月9日(木)	4月10日(金)
朝	学活	学活・国語	国語	学校行事	生活・国語
1	元気にあいさつ ・返事の仕方を学ぶ。	どうぞよろしく ・教室の使い方を学ぶ。 ・自分を知ってもらおうとともて友達のことも知る。	自分の名前をかこう ・正しい鉛筆の持ち方と書く姿勢を学ぶ。	大きくなったかな ・着替えの仕方を学ぶ。 ・並び方を学ぶ。	友達をつくろう ・名刺を交換することで友達の大切さを知る。 ・友達の名前を知ったり、親しみをもったりする。
2	入学式	学校のことを知ろう ・トイレや手洗い場、靴箱の使い方を学ぶ。	なかまあつめ ・描いた作品が仲間分けできることを知る。	校庭をたんけんしよう ・遊具で遊ぶことを通して順番やきまりを守って遊べるようにする。	なかまあつめと数 ・仲間集めを通して、数字の書き方を学ぶ。
3	学活 ○○小の仲間入り ・担任の名前を知る。 ・友達を知る。	国語・図工 なかまづくりをしよう ・話の聞き方や友達の呼び方を学ぶ。 すきなもののいっぱい ・絵の描き方を学ぶ。	音楽(学年) みんなであたおう ・友達と楽しく歌ったり手遊びをしたりすることで歌に親しむ。	算数 なかまあつめ ・カードの絵やブロックを使って集合の意味を知る。	音楽・国語(学年) みんなであたおう ・知っている歌や手遊びを楽しむ。 ・読み聞かせを楽しむ。
4	11:30 下校	学活 たのしいきゅうしよく ・給食着の着替え方や給食の配膳の仕方を学ぶ。	生活 学校をたんけんしよう ・廊下の歩き方や特別教室の使い方を学ぶ。	国語 どうぞよろしく ・ひらがなを学ぶ。 ・読み聞かせを楽しむ。	生活・国語 どうぞよろしく ・自分を知ってもらおうとともて友達のことも知る。 ・ひらがなを学ぶ。
5	学活	学活 学校のことを知ろう ・下校の仕方を学ぶ。	学活 学校のことを知ろう ・校歌を知る。	学活 みんなの仕事 ・日直の仕事や朝の会・帰りの会のやり方を知る。	図工 すきなもののいっぱい ・想像したことを表現しようとする。
下校	通常の下校時刻より早めに下校することもある。学年で下校班を編成し、職員に見守られながら下校する。学童保育などを利用する児童がいるので、家庭と連携を密にし、下校先等の確認を確実にする。				

「茨城県保幼小接続カリキュラム」から
(茨城県教育委員会)

◆ まとめ (スタートカリキュラムとは)

- スタートカリキュラムは、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を大切にした1年生の入学当初のカリキュラム
- 遊びを中心とした幼児期の教育から教科などの学習を中心とした小学校の教育へつなげる計画
- 幼児教育施設での遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、小学校生活を創り出していくもの
- 大切にしたいのは、これまでの子どもの育ちや学びを生かすような取り組み
- 幼児教育施設と小学校の先生が連携して、入学時に期待する子どもの姿をイメージしながら、それぞれアプローチカリキュラムや、スタートカリキュラムを考え、検討していくことが大事。